

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和3年2月4日(2021.2.4)

【公表番号】特表2020-506739(P2020-506739A)  
 【公表日】令和2年3月5日(2020.3.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2020-009  
 【出願番号】特願2019-535254(P2019-535254)  
 【国際特許分類】

A 6 1 L 2/28 (2006.01)  
 A 6 1 L 2/18 (2006.01)  
 D 0 6 M 14/10 (2006.01)  
 D 0 6 M 15/267 (2006.01)  
 A 6 1 B 1/00 (2006.01)  
 A 0 1 N 35/04 (2006.01)  
 A 6 1 L 101/36 (2006.01)  
 A 6 1 L 101/22 (2006.01)  
 A 6 1 L 101/34 (2006.01)  
 A 6 1 L 101/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 2/28  
 A 6 1 L 2/18  
 A 6 1 L 2/18 1 0 2  
 D 0 6 M 14/10  
 D 0 6 M 15/267  
 A 6 1 B 1/00 5 5 0  
 A 6 1 B 1/00 6 5 0  
 A 0 1 N 35/04  
 A 6 1 L 101:36  
 A 6 1 L 101:22  
 A 6 1 L 101:34  
 A 6 1 L 101:32

【手続補正書】  
 【提出日】令和2年12月21日(2020.12.21)  
 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

グラフト化されたコポリマーを有する不織布基材であって、前記コポリマーが、共重合した下記のモノマー単位：

第四級アンモニウム含有配位子モノマー及び/又はグアニジニル含有配位子モノマーから選択されるカチオン性窒素含有配位子モノマー、

アミドモノマー、及び

オキシモノマー、

を含む、不織布基材と、

前記基材に接着された乾燥コーティングであって、

任意選択的な水溶性又は水分散性ポリマー結合剤と、  
複数の試験微生物と、を含む、乾燥コーティングと、  
を含む、物品。

【請求項 2】

前記グラフト化されたコポリマーが、

- a . 10 ~ 50 重量部の前記カチオン性窒素含有配位子モノマーと、
- b . 10 ~ 80 重量部の前記アミドモノマーと、
- c . 10 ~ 40 重量部の前記オキシモノマーと、
- d . 0 ~ 30 重量部のポリ(アルキレンオキシド)モノマーと、を含み、  
a) ~ d) の合計は、100 重量部である、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

第 1 の開口部と前記第 1 の開口部から間隔があいている第 2 の開口部とを有する中空チャンネルを有する本体と、

前記中空チャンネル内に固定的に配置された、請求項 1 又は 2 に記載の物品と、を備える、  
工程試験用具。

【請求項 4】

前記物品が、前記第 1 の開口部から前記第 2 の開口部まで前記中空チャンネルを通過する  
流体が前記物品と接触するように、前記中空チャンネル内に配置されている、請求項 3 に記  
載の工程試験用具。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の工程試験用具の前記中空チャンネルを通して消毒剤を流すことであって  
、前記中空チャンネルを通して前記消毒剤を流すことが、前記物品を前記消毒剤と最小接触  
時間で接触させることを含む、流すことと、

前記中空チャンネルを通して前記消毒剤を流している間、及び / 又は前記中空チャンネルを  
通して前記消毒剤を流した後に、前記物品を前記中空チャンネル内の前記消毒剤と既定の温  
度にて少なくとも所定の最小接触時間で接触させることと、

前記物品を前記消毒剤と少なくとも前記所定の最小接触時間で接触させた後に、前記物  
品を前記消毒剤の抗菌活性を阻害する有効量の中和剤化合物と接触させることと、

前記物品を検出培地と一定期間接触させることと、

前記物品を前記検出培地と一定期間接触させた後に、前記検出培地を分析して、前記試  
験微生物の生物活性を検出することと、を含む、方法。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の物品をフローストリーム中の消毒剤と少なくとも所定の最小接触時間  
で接触させることと、

前記物品を前記消毒剤と少なくとも前記最小接触時間で接触させた後に、前記物品を前  
記消毒剤の抗菌活性を阻害する有効量の中和剤化合物と接触させることと、

前記物品を検出培地と一定期間接触させることと、

前記物品を前記検出培地と一定期間接触させた後に、前記検出培地を分析して、試験微  
生物の生物活性を検出することと、を含む、方法。